

## 1. ITの技術革新が広げる循環器画像診断の可能性

# 4) 札幌心臓血管クリニック における最新のレポートシステム の使用経験

山下 雅敏 札幌心臓血管クリニック臨床検査科

### 当院について

札幌心臓血管クリニックは、2008年に19床の有床クリニックとして心臓および血管治療の急性期診療を施行する施設として開院した。2011年に66床の病院を事業継承し医療法人札幌ハートセンターに名称変更、2012年に2期棟を増築し心臓血管外科を開院、2013年に札幌心臓血管クリニックが53床の病院として承認された。2014年には3期棟の増築を行い、74床（うちICU8床）へと増床した。2019年に85床（うちICU8床）に増床し、現在に至っている。

### エコー室の変遷

2008年、開院時のエコー室は臨床検査技師2名で業務を開始した。超音波検査のレポート作成業務では、まだレポートシステムはなく、電子カルテのテンプレート（テキストベース）での直接入力であった。

画像の保存については、静止画のみ静止画サーバに、放射線科の一般撮影の画像と同様に画像保存していた。冠動脈造影（CAG）画像については、開院当初から「Kada-Serve」（フォトロンM&Eソリューションズ社製）に動画を

保存していたが、超音波の動画保存については、サーバの容量的な負荷を考慮して見送った。

当院は経皮的冠動脈形成術（PCI）件数が多く、全国でも有数の症例数である。超音波検査も非常に多くの件数を施行していたが、2012年の心臓血管外科開設を境に、件数のみならず検査内容も多岐にわたるようになった。現在（2021年3月時）では、2名の医師と臨床検査技師16名で運営するようになっている。

超音波検査件数の推移は図1に示したが、ここ数年はおおむね年間5万件前後を施行している。そのうち約6割の3万件程度が経胸壁心エコーであり、残

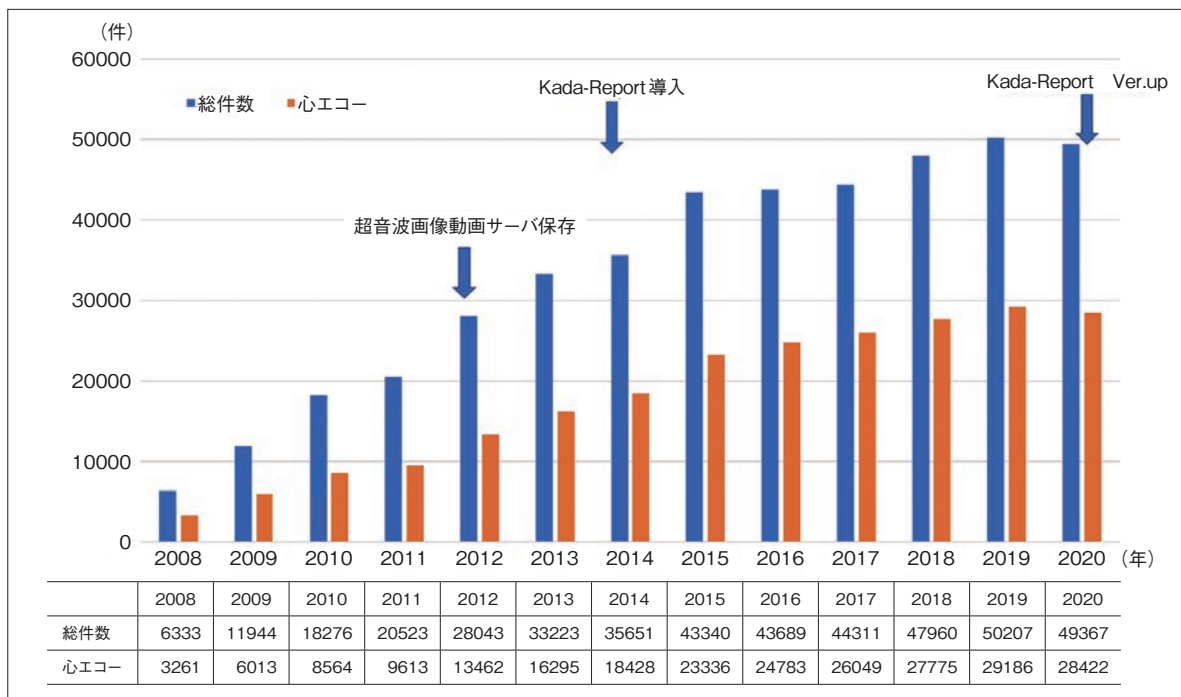


図1 当院のエコー室の検査数推移